

# 2月のできごと

## 町内事業所初の防犯活動団体が誕生

2月8日、町は、安平町終末処理場管理をしている水いんぐ株式会社安平管理事務所に対し、安平町地域防犯活動団体としての委嘱状を交付。

同事務所長 菅野氏からは、全国にある営業所のモデルとなるよう、追分と早来にある処理場施設間の移動時やイベント開催時などでのパトロール活動を通して、地域の安心・安全に取り組みたいとお話いただきました。



## 厄払いを祈願

昭和43年当時、旧早来町の有志が厄払いの祈願と同世代の交流を目的に『第二成人式』と称してとり行ったのが始まりといわれています。

2月17日、46回目の第二成人式が行われた早来神社には、追分方面からの参加者を含めて18名が集まり、今年一年の健康と安全を祈願しました。



## 大切な朝ごはん

本年度全道7か所をまわっている元気もりもり食育キャラバンが2月14日はやきた子ども園にやってきました。

北海道の食育キャラクター「大地くん」と「めぐみちゃん」が歌や踊りの食育ミュージカルで「朝ごはんを食べる大切さ」を楽しく子どもたちに伝えたり、貫田桂一シェフのトークショーでは「良い食材を選ぶ・良く噛む事・楽しく食べる事が食育」と、集まったお母さんたちに「食」の大切さを学んでもらいました。



## 認知症を知る

1月22日と2月21日の2回にわたり安平町認知症サポーター養成講座を開催。現在町内には180名のサポーターが登録していますが、町内の高齢化率は31%に達しており、認知症はとも身近な問題となっています。

本講座では、認知症ってなんだろうという疑問から治療や予防、また寸劇を通して認知症の症状や関わり方を学ぶことができ、参加者にとっては、早期診断・早期治療の重大さを再認識させられる講座となりました。



## いじめダメぜつたい

今や社会的問題となつていくいじめによる被害者の自殺事件等を受け、教育委員会は、生涯学習だよりきらり128号に「いじめ緊急メッセージ」を掲載しました。

2月26日、町内小中学校の代表が集まり「安平町いじめゼロ子ども会議」を開催。小学校では縦割りの交流、中学校では生徒会が中心となった活動が発表され、吉田生涯学習アドバイザーの講評では、「いじめを受けた側は、心に小さな傷を残し、時間がたつても癒されない場合がある」と話し、「いじめを『しない・させない・許さない』で欲しい」と強く訴えました。

